

《改定》

「すみだの雨水活用 2万6千トン！」～全国に誇れるすみだの「雨水活用」

社会（郷土理解） 理科 家庭科 総合（環境）

墨田区では、降って来る雨をためて洪水を防ぎ、生活に活かす「雨水活用」にとりこんでいます。全国的にも雨水活用の先進地域として知られ、区内に設置された雨水タンクの容量を合わせると2万6千トン（2022年3月現在）にもなります。

- (1) ねらい
- ① すみだの環境への取り組みとそれに関する地域の人の活動について理解を深める
 - ② 水の性質（水循環、水質、イオン等）について理解を深める
 - ③ 暮らしと水の関わりについて考える
 - ④ 身近なところから始められる環境活動について知る
 - ⑤ SDGs と雨水活用の関わりを知る

- (2) 対象
- ・小学3年生～6年生
 - ・地域・保護者の方にもご案内をお願いします。

- (3) 講師 **雨水市民の会会員**

- (4) 形式
- ・所要時間 1～2単位時間（土・日授業可）
 - ・クラス単位で教室または理科室に集まり、話を聞いたりミニ実験（又は水循環を扱ったすごろく）をする

- (5) 内容
- ＜お話のみ＞ 1単位時間（45分）、
- ① すみだの雨水活用のあらまし
 - ② なぜ雨水活用をするのか？：洪水防止、節水、省エネ雨の行方と下水道
 - ③ 貴重な水源としての雨：暮らしと水の関係、雨の水質、災害時の雨水活用
- ＜お話とミニ実験等＞ 2単位時間（90分）
- ① お話とミニ実験（雨水の観察、水質、酸性雨）で雨水の水質を知る又はすごろく遊びをしながら水循環を考えます。
 - ② 学校に雨水タンクが設置されている場合は活用します。申込時にタンクの状況を確認させていただきます。



- (6) 費用 「無料」
- ・費用はかかりませんが、学校で道具の準備をお願いすることがあります。
 - ・事後に、「感想文」を送っていただきますようお願いいたします。

- (7) 申込み **出前授業申込書** 実施日1ヶ月前まで ⇒ 学校支援ネットワーク本部へ送付
講師の方には、当本部から連絡を取らせていただきます。
詳細は、雨水市民の会会員と学校担当で打ち合わせてください。
実施期間：指定なし